

シリーズ 三郷学

〈三郷学の視点⑥7〉

三郷学の実践

52. 「比較」で知り、磨き、創る

「比較」は、ものの異同を明らかにしてくれます。

市ではこれまで2回、市が発行する広報紙やパンフレット類をわかりやすくインパクトのあるものとするため、全国から集めたパンフレット類の品評会を実施しました。

品評会には、500近くのパンフレット類が展示され、サイズの大小厚薄、色彩の濃淡などさまざまな種類のものが集まりました。品評会では、市職員が自分のお気に入りのパンフレット類に投票し、投票した理由・考え方を書き出しました。

今回の品評会では、市内を散策しながらの果樹農園め



品評会で若手職員と意見交換する木津雅晟市長

ぐりや、三郷グルメで一日楽しめるツアー向けのパンフレットや小冊子があるとよい、まだ三郷にはないポケット・サイズがあるとよいという意見も提出されました。三郷でも「〇〇〇まつり」を新たに開催できるのではないかといった、パンフレット類以外のことにも発想が広がっています。

「比較」は、三郷の資源を磨いたり、あらたに創造することにつながる手法です。